



発行者
笠間市社協中央支部
編集
中央支部広報委員会
印刷
(有)シーエス

令和四年度

代議員会開催

思いやりの活動方針決まる

四月二十四日（日）中央支部の代議員会が、コロナ禍の為、支部委員と各行政区一名の福祉推進員の出席で開催されました。赤尾杉委員（西町二区長）が議長を務め、令和三年度の事業・会計報告、続いて令和四年度の事業計画案・予算案が支部より提出され承認されました。

いあいあい

支部長 荒張 晴夫

日頃より支部社協の運営にご協力いただきありがとうございます。

また、七月は会員会費募集の月となります。皆様にはご負担をおかけすることになりますが、地域福祉の推進と支部活動の財源となりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

さて、令和四年になっても新型コロナウイルス感染症の第6波が、下火になって来たとはいえまだまだ油断は出来ない状態です。

支部社協としても、福祉活動が思う様に出来ないことが残念で役員一同菌がゆい思いをしています。

今まではコロナ完全終息を願っていましたが、これからはウィズコロナ、現状で精一杯の活動をする事が、支部の役目かと考えます。

制約の中での限られた活動ですが役員一同頑張っております。

ご支援ご協力よろしく願いたします。

◎活動の重点目標と事業内容

(一) 活動資金の確保

- 会員会費の募集（七月）
- 福祉バザー（十月予定）

(二) 高齢者福祉活動の推進

- しあわせサロン散策（中止）
- しあわせサロン会食会（手打ちそば十二月）
- 高齢者親善交流会（十月）（グラウンドゴルフ、輪投げ）
- 敬老会の支援協力（九月）

(三) 地域福祉活動の推進

- 県立友部特別支援学校・福祉センター「たけのこ」の活動を支援

(四) 三世代交流の推進

- 各行政区で実施される三世代交流会の支援

(五) 研修会の実施

- 支部委員・福祉推進員・むつみ会員・広報委員を対象とした視察研修（中止）
- 女性部員の視察研修

○ 普通救命講習会の実施

(六) 広報活動の推進

○ 支部だより 年三回発行



令和四年度 支部役員紹介

支部長	荒張 晴夫
副支部長	高田 眞弓
副支部長	福島 和彦
副支部長	栗股 克巳
会 計	藤枝 正一
会計監査	高野 康司
会計監査	上野 孝次

令和4年度 予算書

【収入の部】

単位：円

科 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	1,210,915	
会員会費還元金	900,000	市社協より
助成金	140,000	市社協より 福祉コミュニティ 50,000 広報助成金 90,000
バザー売上金	250,000	
事業参加費	100,000	しあわせサロン散策・支部委員研修等
配食弁当代	150,000	
雑収入	581	利息 他
合計	2,751,496	

【支出の部】

単位：円

科 目	予算額	摘 要
会議費	50,000	支部委員会・代議員会
事務局費	50,000	
事務通信費	20,000	事務用品
事業費	1,955,000	会費地区還元金・三世代交流 グラウンドゴルフ・輪投げ 配食サービス・しあわせサロン 広報紙発行 その他
バザー開催費	200,000	バザー開催諸経費
研修費	120,000	支部委員・福祉推進員 むつみ会・広報委員・女性部
予備費	356,496	
合計	2,751,496	

令和3年度 決算報告書

【収入の部】

単位：円

科 目	決算額	摘 要
前年度繰越金	704,239	
会員会費還元金	871,500	市社協より
助成金	137,150	市社協より 福祉コミュニティ 50,000 広報助成金 87,150
バザー売上金	269,815	ふるさと祭り
雑収入	83,210	配食関係他
繰入金	0	
合計	2,065,914	

【支出の部】

単位：円

科 目	決算額	摘 要
会議費	22,818	お茶代
事務局費	0	
事務通信費	4,123	事務用品
事業費	762,286	会費地区還元金 429,000 三世代交流助成 0 グラウンドゴルフ・輪投げ 49,409 配食サービス 198,071 広報紙発行 85,806 その他
バザー開催費	65,772	
研修費	0	支部委員・福祉推進員・女性部 等研修
予備費	0	
合計	854,999	

令和4年度 支部委員・福祉推進員名簿

支 部 長	荒張 晴夫	(緑町3)	推 進 員	石塚 貴則	(当の越1)
副支部長	福島 和彦	(桜 町)	同	西野 峰子	同
同	栗股 克巳	(東町3)	同	橋本 勝男	(当の越2)
同	高田 眞弓	(大沢中3)	同	生田目里美	同
会 計	藤枝 正一	(東町4)	同	宮澤 富行	同
会計監査	高野 康司	(桜 町)	同	田家奈々恵	同
同	上野 孝次	(桜 町)	同	長谷川悦子	同
支部委員	近藤 修平	(東町1)	同	三次 正則	(緑町1)
同	石井 洋	(東町2)	同	今井 利幸	同
同	神川 利夫	(東町3)	同	大出 正勝	同
同	入江 洋一	(東町4)	同	谷津 恵子	(緑町2)
同	荒川 昌之	(仲 町)	同	岩波喜代美	同
同	市毛 優至	(南 町)	同	宮本 弓	同
同	上原 信雄	(西町1)	同	田中 聖子	同
同	赤尾杉友一	(西町2)	同	高久久仁子	同
同	三次 登	(桜 町)	同	中澤 節子	(緑町3)
同	國谷 純一	(当の越1)	同	大森 実	同
同	苅部 昭二	(当の越2)	同	内桶 直樹	同
同	大貫 洋一	(友部栄町)	同	矢萩 恵子	同
同	田口 博	(緑町1)	同	北詰 彰	同
同	斎藤 光司	(緑町2)	同	荒張 晴夫	同
同	森山 隆	(緑町3)	同	柴沼きよ子	(美原団地)
同	片岡 誠	(美原団地)	同	高橋 和子	同
同	笹目 收	(青葉町)	同	豊田 教子	同
同	中村 誠	(大沢中1)	同	松本 久子	同
同	伊王野資博	(大沢中2)	同	鶴田 芳郎	(青葉町)
同	入江 廣	(大沢中3)	同	小澤 篤	同
同	鈴木 征夫	(幸 町)	同	薄井 洋輔	同
推 進 員	鈴木 忠雄	(東町1)	同	宇野大吉郎	同
同	望月 三郎	同	同	内藤 啓之	同
同	柳橋 賢寿	同	同	谷津 信子	同
同	内桶 誠史	同	同	吹野 靖博	同
同	友部 敏江	(東町2)	同	朝倉 茂利	同
同	上野 仁子	同	同	井坂フヂエ	同
同	青木 重子	同	同	水越 健二	(大沢中1)
同	瀧本 達也	(東町3)	同	水越 愛子	同
同	塙 賢二	同	同	中村美千代	同
同	高久 良隆	同	同	植木章太郎	同
同	坂場 雅史	同	同	菊地 正彦	同
同	瀧本 政明	(東町4)	同	寺田 恵子	(大沢中2)
同	後藤 博	同	同	貴志 敬介	同
同	郡司 正秀	同	同	岡野 眞喜	同
同	鈴木 寛	同	同	今野 拓	同
同	日出山久美子	同	同	宮内 秀幸	同
同	南 秀利	同	同	多川英久雄	同
同	田口 正浩	同	同	高屋 衛	(大沢中3)
同	伊橋 理代	同	同	佐藤 義典	同
同	永井 博子	(仲 町)	同	飯田 芳昭	同
同	坂本奈央子	(南 町)	同	鯉渕 四郎	同
同	福田 紀子	同	同	鈴木 美紀	同
同	上原 順子	(西町1)	同	佐藤 勝信	同
同	富田 英明	同	同	山中 秀木	同
同	横倉 きん	(西町2)	同	佐藤 智哉	同
同	神崎 昭子	同	同	錫田 喜也	同
同	鶴田 弘司	(桜 町)	同	大谷 啓介	同
同	齋藤 節子	同	同	阿久津朋洋	同
同	深作 祥司	同	同	入野 敏明	同
同	菅谷 正子	同	同	高田 眞弓	同
同	平岡 義治	同	同	藤井 正夫	(幸 町)
同	柴沼 秀幸	同	同	加藤 桂次	同
同	鶴田 英司	同	同	松原 和雄	同
同	高野 康司	同	同	栗原 久	同
同	石井 芳子	(当の越1)	同	藤井 洋三	同
同	橋本 武	同			

女性部の活動について

部長 高田 眞弓

四月二十四日、代議員会に続き、女性部総会が開催されました。令和三年度もコロナにより、人との出会いや活動が減少してしまいました。が、皆様のご協力のおかげで、なんとか活動できました。コロナ感染は、依然として続いています。が、ワクチン接種により、活動や会議が少しずつ開催できるようになりました。そんななか、配食サービスが年間七回できたことは、とても嬉しいことでした。そして一年ぶりに開催された福祉バザー。私達も購入して下さる方も、その日の晴天のように晴れ晴れとした気持ちで一日を過ごさせていただきました。今までの日常が戻ったように思いました。皆様からのご協力の品々、ありがとうございます。

ございました。少しずつではありますが、明るい兆しを感じられました。これからも支部活動に、女性部として、協力できるように話し合い、活動していきたいと思っています。



女性部役員紹介

副部長 村 上 美保
副部長 中 村 美保
副部長 青 木 重子
部長 高 田 眞弓

むつみ会員募集

「むつみ会」は中央支部の重要な組織の一つです。むつみ会員は、配食サービスのとき、原則75歳以上の一人暮らしの方やその他民生委員が認めた方に、「お元気ですか。」の声掛けとお昼のお弁当を届けるボランティアです。

このむつみ会員が高齢になり、この数年で退会する方が増え、現在、少ない人数で配食サービスをしています。この配食サービスは年11回（月1回）、配食サービスをしています。都合の悪いときは、欠席しても構いません。ご協力いただける方は、支部役員又は女性部役員、社会福祉協議会のいずれかにご連絡ください。

皆様方のご協力をお待ちしております。



あとがき

新緑が眩しい季節を迎えたかと思うのも束の間、早いものでもう梅雨がやってまいりました。世情が何かと落ち着かない様子なのはとても残念ですが、今年度も支部活動で皆様のご協力を賜りながら、和やかに取り組んでいければと願っております。

さて、今回の支部だよりは代議員会・女性部総会を中心に、新年度事業等をお届けいたします。会員の皆様に愛読されるような充実した広報紙づくりに努力してまいりますので、どうぞよろしく願いたします。

（栗股）